

一、森林ノ問題 其ノ五 (戰 車)

一、同 其ノ六 (持久作戰トノ關係)

一、米軍裝備ノ重慶軍

一、「ビルマ」ノ雨期

一、内地トノ交通、兵員ノ補充

一、通信ト戦力

一、地圖ノ梯尺

一、通信ト戦力

一、森林ノ問題追加

一、「ゲリラ」戰 (附通信ノ及ス精神的支援)

一、遊撃戰ニ關スル心理的觀察

一、勳 章

一、師團ノ戦力 (幹部ノ補充)

一、前岸據點ヲ確保シテ行フ河川防禦

一、志 氣

一、師團ノ實力ノ編成

序

緬甸カラ歸ツテ緬甸ノ話ヲセヨト方々カラ言ハレル北「ビルマ」テ起  
ソテイル戰鬪ノ實相苦勞シテイル將兵ノ模様其ノ原因等ヲ理解シテ  
イテ中央部カラ出來ルダケノ支援援助ヲヤツテ實ニ努力スル  
苦勞多イ戰線ニ先鋒戰友ヲ援シテ歸ツテ來タ者ノ當然ノ務デアル  
森林戰經驗ノナイ人々ニ森林戰ノ問題ヲ少シデモ理解シテ或イテ教育  
訓練ニ資シテ或キ度イト思フコトモ有ル

所ガ話シタイ入ハ皆熱シク忙シサウデ有ルノテ思出ツル儘ニ懇談  
時デモ話ス様ナ氣持デ色々ノ事ヲ記述シテ先鋒同僚ニ配布シ暇ナ時ニ  
讀ンデモラフコトニシタ御一讀ヲ賜ハリ價值アリト思ハレバ問題  
ニ關係アル人ニ同覽シテ或キ少シデモ北「ビルマ」ニ於ケル諸問題ヲ  
理解シテ或キ論方面ノ部隊ニ對スル支援援助ヲ賜ラバ幸甚デア

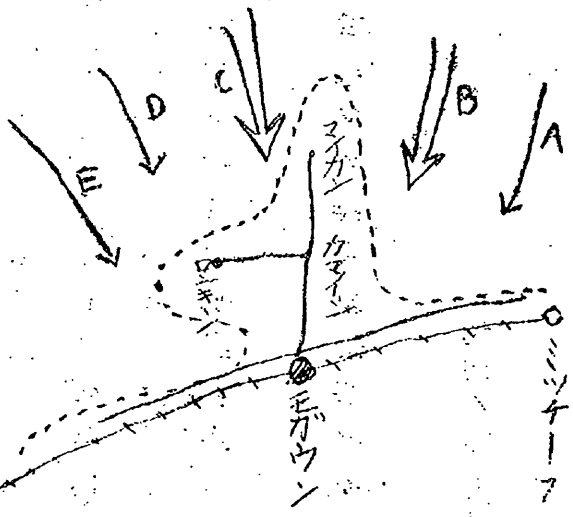
五月一日記ス

0245

○空中（補給）問題

○山ヲ見テ簡單ニ「大兵ノ使用ヲ許サズ」ト言フ所ガ此ノ判決ハ大兵ノ中ニ砲兵戰車ヲ有スル部隊ト言フ事ガ省略セラレテタリ又大兵ガ無理ノ通ツテモ補給ガ續カメ故大キナ敵ハ來ナイダラウト言フ場合ガ多イ所ガ單獨兵ノ通ル所ハ徒歩兵ハ十人デモ五千人デモ通ル譯デアリ追撃砲ノ分解搬送ガ出來レバ追撃砲編成ノ一箇聯隊位ガ羊腸タル歐局道敷道ヲ補修シテ來ルコトハ問題デナイ

○空中補給サヘ利ケハ必要ナ糧秣彈藥ハ何時デモ賣ヘル事實北正面ノミテ三百軒以上ノ正面ヲ擔任シテキタ師團ガ三月末以降當面シツツアル戦況ハ三〇〇軒ノ全正面ニ亘リ一大隊一聯隊單位ノ敵ガ歐馬道河底遠稜線道凡有通過可能ノ地域ヨリ鐵道線路ニ向テ參透シ對スル戰闘デアル

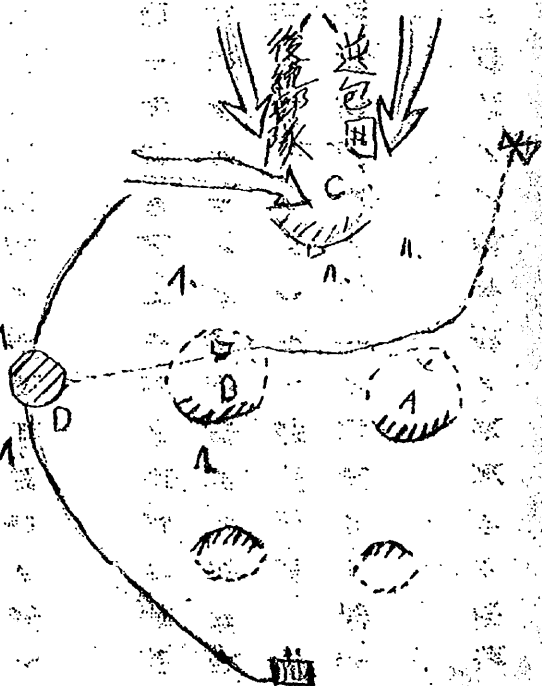


反對ニ空中補給ナキ師團ガ一聯隊以上ノ戦力ヲ濫メテ敵ヲ叩クニハ補給ノ關係上自動車道ヨリ離隔スル距離ニ限度ガアル  
 且ノ敵ニ對シテハ前進阻止ノ僅少ナル一部ヲ派遣出來テモ之ヲ叩クニハ鐵道線路附近ニ戰場ヲ求メザルヲ得ナイ

「フリーコン」地區ノ戰線ガ南下スル原因ハ主トシテ之デアアル  
 ○空中補給ハ山地ノ障礙價値ヲ大イニ滅殺シタト言フコトニナル  
 ○敵ノ側背ヲ攻撃スル事ハ正面攻撃ヨリモ有利ナコトハ確實デアアル  
 我ノ陣前ニ近接シA B Oノ配置ヲ取ツタ敵ニ對シ機動部隊ヲ以テシヤングル」ヲ伏開シテ重結ヲ〇ニ指向シテ背後カラ席捲撃滅ヲ企圖スル時〇ハ取レタガA Bハ殘ツタト言フ狀況ハ屢々發生スル 此ノ

二

0247



迂回部隊が携行シ得ル彈藥糧秣ニハ限度ガアル  
 糧秣ノ半分以上ハ迂回ト攻撃準備間費消サレル  
 右携行量ノ範圍ヲ結末ヲ著ケ得ナイ攻撃ハ失敗スルノミナラズ却テ  
 敵ノ逆包圍ヲ受ケテ全線ニ大害ヲ及スコトガアル  
 (從來ノ經驗デハ歩兵一大隊基幹ノ攻撃部隊ガ敵ノ一中一半大ヲ攻  
 撃スル場合攻撃開始後半日ヲ目的ヲ達セズ時ハ大体失敗デアアル)

際敵ハ其ノ準備隊ヲ以テDニ於テ我ガ  
 迂回攻撃部隊ノ補給路ヲ遮断シテ陣  
 地ヲ構築スル  
 其ノ結果時日ノ経過ト共ニ  
 1. 我方攻シ部隊ハ彈藥糧秣ノ補給ニ困  
 難ヲ來スガ  
 只敵ハ空中補給ニヨリA B C Dハ益  
 頑強トナル

大部隊ノ攻襲デモ同一デアアル  
現在「コヒマ」「インパール」ニ起ツテキルノハ大部隊ノ夫レデア  
ル

◎ 參謀ノ數

廣正面數百軒ヲ擔任スル師團ノ參謀ガ二人デハ到底第一線ノ實情ヲ視  
察スル餘裕ハナイ 平時机上ノ事務ヲナシ命令ヲ起案スル事ハ出來テ  
モ戰鬪開始時第一線ヲ見廻ル餘裕ガナイ 三人ハ最少限ノ要求デアリ  
四人居レバト思フ事ガ囑有ツタ  
因ニ師團ガ擔任シテキタ正面ハ北方面三五〇軒東南正面一〇〇軒防衛  
擔任地域ノ面積ハ關東平地全域ヨリモ廣ク後方ハ軍ノ補給點ガ「マン  
ダレー」デアリ其カラ北、鐵道四〇〇軒自動車一五〇軒ノ地點ニヨガ  
居リ第一線ハ更ニ其ノ前方數十軒ニ居ルノデアルカラ後方主任ハ圖上  
戰術ノ正面デ言ヘバ方面軍後方主任ノ擔任スル兵站迄モ處理セバナ  
ラズ實情デアツタ後方主任ガ第一線ニハ出ラレナイ 作戰主任モ各方

三

0249

面受ケモツテキテ中々難シイ

結局情報主任一人ガ主トシテ廻ルコトニナツタガ其デモ 全部ニハ中

々廻リ切ラナイ 戦闘ハ毎日各方面デオコソツテキル

◎幕僚ノ第一線視察ト乗物

下師團ノ最モ困難シタ問題ハ補給デアリ軍以上ノ幕僚ニ見テ戴キ度イ

ノモ其ノ困難オ實情デアツタ

勤務ノ辛サデハナイ第一線職ノ兵力ヲ吸收シテキル實情ト報告ヤ軍務の品ヤ

類ガ遅レル實情デアル

「マシダレ」カラ「ミツチ」ナ迄鐵道ガ全線開通シテ日本内地

ノ如ク晝間連行可能ナレバ一日テ來レル所ガ爆撃ニヨリ二―三箇所

切斷セラレ夜間連行ノミ實施スル場合ハ一週間位掛ルガ通常デアリ

切斷箇所ニハ膨大ヲ荷役人員輸送機關ヲ要スルハ朝到著シタ荷物

ヲ敵ノ飛行機ガ活躍ヲ始メル迄ノ一―二時間ノ間ニ分散（或ハ塔）

スルタメニハ内地ト異ナツタ荷役人員ヲ要スル土民ハ空襲ヲ恐レテ集

ラナイ」飛行機デ二時間汽車デ一週間デハ忙シイ軍參謀ハ飛行機ニ  
依ルガ自然デアルソノ鐵道ヲ補給ヲ受ケテキル師團ガ如何ニ後方  
ニ戦力ヲサカレルカト言フ實情ハ餘程ヨイ機會ガナイト見テ戴ケナ  
イ口デ言ツテモ切實デナイ

三、空爆ノ激シイ地區ノ自動車運行ハ夜間ニ限定セラレル森林ニ覆ハ  
レ適當ナ展望點ノナイ地域ニ忙シイ日程デ來ラレル軍參謀ハ飛行場  
附近ト晝間待避地點附近ノ一「ヘクタール」位ノ地形ト森林内トノ  
竹小屋建築ヲ見ル程度デ本當ノ地形觀察ハ中々難シイ  
幕僚ノ人少ト忙シサノタメニ起ツテキル第一線ノ實情デアアル  
現在ノ船團輸送等ノ實情モ大本營參謀ガ多ク飛行機デ行動シテホテ  
ハ中々判ラヌノデアアルマイカ

◎ウインゲード

昨年77Bノ指揮官トシテ入緬シ本年落下傘部隊ノ最高指揮官トシテ再度  
入緬セントシ遂ニ戦死シタ男デアアル



日本内地ノ新聞ニモ時々名前ガ出テサルガ緬甸特ニ菊兵團ガハ最モ劇  
 染ノ深イ敵將デアアル

昨年師團ガ現在ノ二倍ノ正面ヲ擔任シ第一線ノ兵力稀薄キ一領之ニ  
 乗ジテ率キテ渗透攻撃ヲヤツテ來タ

緬支國境

二月中旬「チンドウイン」ヲ越エ約二

〇〇ノ兵ガ一〇〇、三〇〇、五〇

〇等ノ敵縱隊ニ別レ空中補給ニヨリ我

ノ再三ノ攻撃ヲ潜リ主下シテ夜間行動

ニヨリ「イラワジ」河ヲ越エ其ノ一部

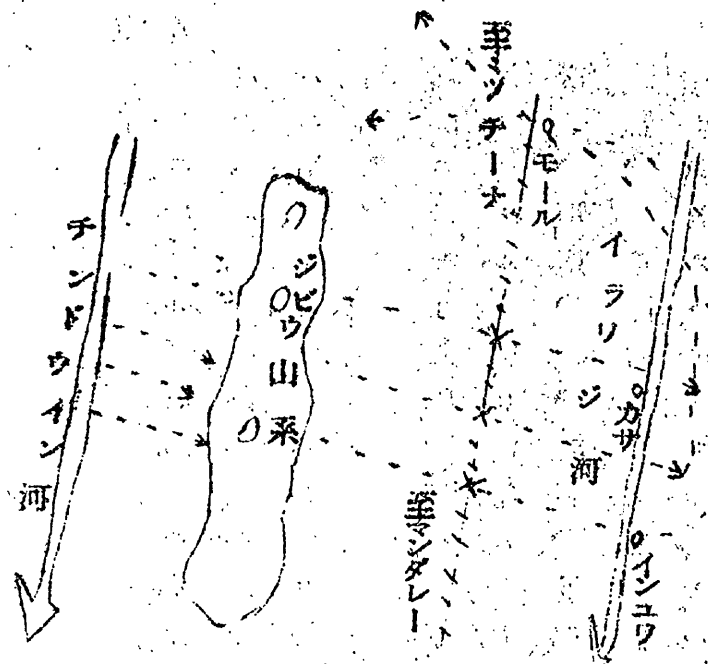
ハ緬支國境ニ迄至リ反轉シテ五月末歸

印シタ

二〇〇〇餘名中歸ツタ者三〇〇程度チ

他ハ菊ノ主力、弓、龍ノ各一部ニ捕捉

擊滅セラレタ 而シテ今ニ至ツテ判ツ



タ事デアアルガ其ノ僅少ナル一部ハ「カト」北方及「イシキワ」東方  
地區ノ森林内ニ居殘ツテ訣々一箇年本年ノ落下傘降下ノ基地ヲ設定シ  
テキタ調デアアル

二月中旬末着任シテ直チニ情報主任ヲ命ゼラレタ予ノ當時ノ判断ハ  
敵ガ「チンドウイン」ヲ越エタ當時ハ「ジビウ」山系以西ノ地域  
ヲ領有シ次乾期ノタメノ反攻據點ヲ確保スルヲシテ「ジビウ」山系以  
西ノ地域  
時「ジビウ」山系ハ馱馬ノ通過困難ナ狀況デアツタ  
敵ガ「ジビウ」山系ヲ越エルニ及シテ「ミツチ」鐵道線ヲ破  
壞シ北「ビルマ」ニアル日本軍ノ補給ヲ困難ナラシムルヲ主目的ト  
ナシアル可シ之ニ連繫シ「レド」方面ヨリ相當ノ反攻アル場合ヲ豫  
期ス「ト」言フ程度デアツタ、所ガ敵ハ鐵道ヲ數箇所ヲ破壞シテモ尙  
東進ヲ止メナイ

3 迷ニ「イラワヂ」河ヲ渡河スルニ及ンデ偶々捕獲セル敵大隊本部ノ  
所有地圖ガ北緬甸全境ヲ保有シ東南ニ及ビアル等ト考へ併セ

ニ至リ印支地上連絡成ルト言フ宣傳資料ヲ得テ攻勢的効果ヲ得  
ツツアル可シト言フ事ニ落着イテ「ミツチーダ」  
「バーモ」  
「カン」道ニ兵力ヲ配置シ敵ノ雲南ニ潛入ヲ阻止スル處置ヲ取ツタ  
（此ノ判斷ハ四月十八日東京爆撃ニ際シ其ノ局ニ當ツテキタ大井參謀  
謀言ヒ出サレタモノデアアル又アノ手ヲヤリヨルト言フ譯デアル）  
我が各方面ヨリ集結シタ兵力ヲ以テ「カーサ」東南方地區ニ於テ之  
ニ潰滅的打撃ヲ與ヘルヤ敵ハ「カーサ」北方ヲ經テ「モール」ニ脱  
ケ更ニ西進シテ遂ニ「チンドウイン」河ヲ再ビ渡河シテ歸印シタ  
此ノ間敵ノ各縦隊共我ノ攻撃ヲ受ケ其ノ主力ハ戦死シ或ハ捕虜トナ  
ツタガ「ウインゲート」ノ直接指揮スル縦隊ハ其ノ前兵ニ打撃ヲ與  
ヘタ事ハアツタガ主力ハ兎ニ角脱ケテ逃ゲノビテキル  
昨年六月末航空機塔乗中戦死サレタ大井參謀殿ガ「ウインゲート」  
ヲ退ヘロクト第一線ヲ叱咤激勵サレタ姿ガ目ニ残ツテキルニ○  
○米周圍ノ葦ノ中ニ包圍シタ事モアツタガ兎ニ角逃ゲタ而シテ本

年三月五日頃開始セラレタ敵落下傘兵團ノ着陸場ガ「ウインゲート」  
ノ通過シタ経路上ニ設ケラレテツリ彼ガ亦其ノ最高指揮官トシテ來  
タト聞クニ及ンデハ昨年入島ノ企圖ハ最早明瞭デアル

77Bノ捕虜中ニ多數ノ航空將校ガ居リ我々ノ任務ハ飛行場適地ノ偵察  
ニ在ル等ノ陳述モナリ當時ハ落下傘部隊ニ對シ警戒モシタガ本年ニ  
入り第一線ガ忙シクナリ兵力不足ヲ告ゲルニ及ンデ注意ハ第一線ノ  
戦闘ニ向ケラレタ一箇師團ヲ關東平地以上ノ地域ノ防衛ヲ擔任シ  
テキル師團トシテ高崎、宇都宮附近ニ戦闘スルタメニ川越ヤ上尾ニ  
ハ充分ナ兵力ヲ置ケナカツタ事ハ了解シテ戴ケルト思フ

○「ウインゲート」ノ人物

捕虜ノ首ニヨルニ

イ、彼ハ北阿戦ノ勇者デアリ今次侵入（一般將校兵ハ日本軍ノ後方擾  
亂ヲ目的トスト致ヘラレテキタ）ハ無暴ノ舉トシテ各方面ヨリ反  
對アリ「ウインゲート」モ乘氣デ無カツタガ彼ハ強引ニ押切ツテ自

0255

ラ其ノ指揮官ヲ留ツテ出タ

○今夫潜入部隊將兵ハ斯クノ如キ無暴ノ舉ノ成功スルヲ信ズルモノナ

シ「ウインゲート」ハ北阿戦ニ於ケル自己ノ成功ノ圖ニ乗ツテ我

等ヲ死地ニ引キコミタリト

⑤「ウインゲート」ノ縦隊ニ屬シアリシ者ハ曰ク

將兵ハ絶エズ不安ノ念ニ隨ラレアリシモ「ウインゲート」ハ常ニ自

若トシテ成功ヲ確信シアルガ如ク見ラレタリト

ニ「インバール」出沒ニ際シ「ウエーベル」ハ金色燦然タル胸間ノ

勳章ヲ輝カセツツ見送リニ來リタルモ「ウインゲート」ハ兵ト同

様ノ短袖短袴姿ニテ見ルカラニ野人振りヲ發揮シツツ其ノ見送リ

ヲ受ケタリ云云ト

要スルニ彼ハ一風變リタル豪傑ト疑ナカリシモ一年後再度落

下傘部隊指揮官トシテ降下スルニ至リ而シテ敵放送ノ傳フル如ク昨

年ノ企圖以來總テ彼ノ敵作ニ基クトスレバ彼ハ單騎ノ豪傑ニ非スシ

テ相當ノモノナリト言ハザルヲ得ナイ

○昨年「ウインゲート」ヲ捕ヘント努力セシ氣持ノ内一〇〇分ノ一位ハ此ノ佐久間玄蕃カ幅島正則カノ如キ人物ヲ捕ヘテ面ヲ見テヤリ度氣持モ有ツタガ遂ニ此ノ面貌ヲ見ル機會ハナカツタ  
今ニシテ思ヘバ既ニ故人トナツタ彼「ウインゲート」ハ予ノ想像セル佐久間玄蕃級ヨリ一段上級ニテ本多平八郎カ小早川隆景級ノ人物ニ非ザリシカ

鬼モ角少將ニシテ小サイ乍ラモ日本ノ新聞ニ載ツタ彼ハ恐ラクハ敵英米ニ於テハ相當ニ其ノ戦死ヲ惜シマレタ事デアラウ

「ウインゲート」ヲ捉ヘロト言ツテ居タ大井參謀モ當ノ「ウインゲート」モ共ニ飛行機ヲ戦死シタ<sup>事ヲ考フルト若干ノ誤</sup>イモ何等カノ<sup>誤</sup>困<sup>ル</sup>事<sup>ナ</sup>ラウ  
○敵ニモ相當ナ者ガタルコトヲ率直ニ認メネバナラナイ

◎宣撫ト飛行機

邊疆民族懷柔宣撫ノ最良物品ハ飛行機デアル 緬支國境北「ビルマ」

山崎ノ「カチン」人ハ臺灣ノ生靈ノ如ク之ヲ懷柔セバ相當ノ戦力トナ  
ル 我方方ノ四苦八苦ノ努力ニヨリ漸ク我方方ニツイタ「カチン」部落  
ハ間モナク敵戦闘機ノ銃撃ニヨリ焼キ拂ハレ結局ハ日本軍ノ來ナイノ  
ヲ希望スル所ニ落付ク 敵ハ飛行機ヲ脅カシ乍ラ一方飛行機ヲ宣撫品  
ヲ投下シツツ宣撫班ヲ推進シ地歩ヲ擴大スル  
宣傳方法ヲ擔任シテホテ之サヘ無ケレバト想フ敵ハ矢張飛行機ヲアツ  
タ

◎間接攻撃其ノ一「ハンニバル」ト「スキピオ」

「ハンニバル」ノ殲滅戦術研究ニ對スル「シユリーフエン」ノ熱心サノ  
語ハ再三聞カサレタ

直接攻撃ニヨリ勝ヲ一舉ニ決スル戦術ハ獨逸ノ得意トスル所アリ日  
本ノ戦術方式モ多ク獨逸ニ學ンデホル

勝多戰場ニ於テ決スル戦術戦史ハ外國ノモノモ日本古來ノモノモ相當  
多研究セザレテキル 桶狭間、山崎、川中、長門、浪花前ニナツテ語

リ傳ヘラレ人口ニ膾炙シテキルノハ直接攻襲ノ戰闘デア  
「ハンニバル」ガ「アルプス」ヲ越エタ事ニ感心シテ地形ノ困難ヲ克  
服スル精神力ノ必要ヲ説キ意表ニ出タリト言フ敎訓ヲ求メ「ハンニバル」  
ノ戰闘ニ益頭ヲ突込ムノガ獨逸日本ノ研究ノ流レデアリ何方故ニ「ハ  
ンニバル」ハソナ困難ヲ冒サネバナラナカツタカニ疑問ヲ持チ當時  
ノ制海權ノ「ローマ」ニ有ルコトヲ發見シ更ニ海上ヨリ逆ニ「イスバ  
ニヤ」「カルタゴ」ニ上陸シ陸上交通遮斷、増援妨害「ハンニバル」  
軍ノ自然消耗ヲ待ツ作戰ノ成功ヲ研究シ制海權ノ必要、補給ノ重要性  
間接攻襲ノ價值方法ヲ研究シテ行ツタノガ英米軍ノ研究ノ流レノ様デ  
アル

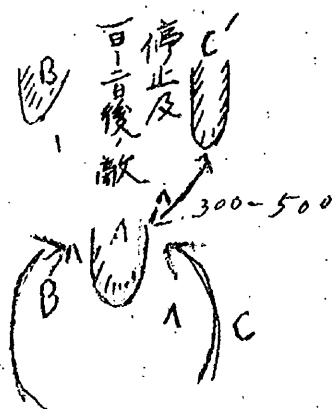
英米軍ノ直接攻襲モ必ズシモ弱クハ無イ、其ノ膨大ナル鐵量ノ威力ハ  
認メザルヲ得ナイ而シテ之ガタメ必要ナル補給路ノ價值ノ認識之ガ確  
保ノ努力ト逆ニ敵ノ補給ヲ遮斷シ必ズシモ敵ノ武力堅固ナ所ニ直接ブ  
チアタラヌ思想ハ徹底シテキル



直接攻撃ニヨリ一舉ニ敵武力ヲ潰滅スル研究ト同様ノ熱意ヲ以テ間接  
 攻撃ノ方法及之ガ對抗策ヲ考ヘルコトハ急務中ノ急務デアラウ  
 又補給ノ重要性ヲ認識シ第一線ヲ之デ苦勞サセヌ研究ハ深刻ニヤラネ  
 バナラナイ

◎森林ノ問題其ノ一（戦團單位下通信連絡）

森林内ノ戦團單位ハ歩兵大隊デアル（茲ニ述ベル戦團單位ノ意味ハ操  
 典トハ異ナル）



「ジャングル」ト言ハレル土地ニ於テハ三〇〇米離レタ所ニ居テモ火  
 力ノ協力ハ困難デアル五〇〇離レテ連  
 絡施設ガナケレバ赴援サヘ容易デナイ  
 Aノ敵ニ對シB及Cヨリ向フ分進合擊  
 ノ成功シタコトハ半年間一回モ無カツ  
 タ  
 多クハ何レカ一方ガ森林内ヲ迷ツテ避

兵トナル

又Aノ攻撃ニ對シ三〇〇―五〇〇米離レテキルB及Oノ敵ガ半日―一日ノ中ニ増援シテ來タ事ハ無イ

我が方ノ一大隊ヲ以テ敵ノ一中隊位ヲ一―二時間デ潰滅セシメル場合ガ最も容易チアリ成功確實デアル

大隊長ガ勇敢チ實兵指揮ニ卓越シ聯隊長ガ歩砲ノ協同ヲ緊密ニ律シテヤツタ場合ノ攻撃ハ大體成功シテキル

聯大隊長ノ能力ノ向上モ必要デアルガ大隊ノ戦力ヲ最大限ニ發揮スル編成一諸兵連合ニシテ充分ナル通信機關ヲ有ス軍隊區分ヲ作ツテヤルコトハ更ニ重要デアル

通信符ニ有線通信ノ攻撃ノ局所ニ於ケル價值ハ決定的デアル歩砲綜合ノ威力發揚モ大隊長、中隊長ニ對スル指揮掌握モ之ナクシテハ不可能デアル

島ノ防備ニ任ズル部隊ニ無線ノミヲ有タセル編成ハ一考ヲ要スル有

線ヲ有タナイ部隊ハ眞面目ナ組織アル攻撃ハ困難デアル

0262

◎森林ノ問題其ノ二ノ教育訓練

本年度師團ノ當面スル戰鬪ガ森林戰ナケリ之ガ研究ノ必要ハ昨年以來  
明カテ有リ戰鬪敎令ヲ書ク必要ハ設ネ<sup>ル</sup>言ハレテイツタガ實際自信  
ノアル敎令ガ出來タノハ敵トブテ當ツテ戰鬪反覆後二ヶ月經ツテ後テ  
アツタ西南太平洋戰鬪ノ敎訓ガ屆キ始メタノモ此ノ頃デアル  
歩兵學校敎官ヲ長クヤツテラフレタ聯隊長職一乎ハ舞臺長閣下ノ參謀  
長殿ノ深キ御配慮ニヨリ本大作戰鬪ノ約半分ハ此ノ聯隊長ノ下ニ於テ  
第一戰線勤務ニ付カシテ職キ親シク聯隊長ノ職線ニ於ケル常兵指揮ノ  
要領ヲ見セテ戴イタ參謀トシテ我々如キ若輩ガ意見具申スルノ餘地  
ノナイ立派ナ能力卓越セル聯隊長デアリ予ハ顧問ノ企圖全般ノ狀況ヲ  
傳達シ師團司令部トノ連絡ニ任ズル以外ハ昔ノ武將ノ子ガ若クシテ戰  
場ニ伴ハレ其ノ父親ノ餘カナル指揮操リヲ見テ自然ニ戰爭ノ要領ヲ覺  
エタト同ジ様ナ氣持テ其ノ老練ナル落着イタ師團指揮ヲ見渡シツツ司  
令部ノ繁勞ナル雜務カラノガレテ頭腦ノ保養ヲナシタモノデアツタ

0263

ガ十月三十日ニ戦闘ヲ開始シ十二月末頃ニナツテ一戸梟ヤツト森林戦ト云フモノガ籠ニ分ツタ様ナ氣カスルナト云ハレタ。予自身モ其シナ氣ガシタ。

内地テ或ハ一ジャバルテ將校ヤ見習士官ガ尋テ來タ森林戦ノ要領モ現地テ相當ノ修正ト工夫ヲ加ヘル頭ト能力ノ無イ者ニハ餘リ役ニ立タナカツタ様ニ思フ。

吾々ノ體驗モ「フリーコン」地區ト云フ特殊ノ地形テ米軍裝備テ米軍ノ戰法ヲ學ンダ重慶軍ヲ對手ニ廣大ナル正面ヲ以テ行フ長持間ニ互ル持久作戦ト言フ特殊ノ場合デアリ之テ森林戦ガ分ツタ等トハ言ヘル柄テハ無イガ内地ニ於テ森林戦ノ教育ヲ命ゼラレテ而モ此ノ體驗ノナイ人ハ定メシ自信ノ無イ事デアラウト同情ニ堪ヘナイ。

○一ヶ師團全部軍全部ガ森林内ニ入ツテ戦闘スルノデアツテ作戦要務令ニ書イテアル住民地ト相似一闊絡地ノ中ノ局所的森林ノ森林トハ全然趣ガ違フシ又第四部ノ森林戦トモ趣ノ違フ所ガ多分ニアル。

行軍、宿營、糧食、戰鬥、追擊、退却、陣地構築等々行住坐臥全部森林デアル。教育スル者モ漠然ト森林戰教育ト言ハズ其ノ想定ニ教育ノ權限ニ森林ノ規模ヲ考ヘテ原則ヲ明瞭シテ教育ヲヤラネバナルマイ。○唯、次ノ事ハ言ヘルト思フ。戦ノ戦法ヲヤツテキタ統合能力發揮ノ教育訓練ハ徹底的ニ實施スル必要ガアル。前記聯隊長殿ノ特ニ卓越シテキタ點ハ歩兵ノ各種火器罷上兵戦力ヲ攻撃點ニ集中發揮スル能力アリ之ハ多年歩兵學校ヲ研究シ教育サレタ體験ガ物ヲ言ツテキタ事ハ明瞭デアル。此ノ基礎能力ガ無ケレバイクラ森林内ヲ道ヒ廻ツテモ無駄骨折デアラウ。更ニ操リサケレバ各種火器器械ノ性能ヲ知悉シテ居ルコトガ其ノ戦力ヲ發揮セシムル根本ガアル。自信ノナイ森林戰ノ教育ヤ演習ツヤルヨリハ諸兵種統合戦力發揮ノ要領ヲ徹底的ニ教育スルコトガ聯隊長ノ眼目デアラウ。

◎森林ノ問題其ノ三（「ジャングル」ノ釋義）

森林内ノ戰鬪ヲ計斷スル際「ジャングル」ノ程度ハ戰術的ニ次ノ様ニ區分出來ル

甲・伐開シナケレバ單獨兵ト雖モ行動不能ノモノ

乙・伐開セズトモ單獨兵ハ森林内ヲ潛ツテ稍々歩度ヲ早メテ通レル

丙・機關銃ガ二人搬送テ伐開セズニ通レル

攻鬪ニ最モ有利ナノハ丙デアリ乙ナレバ其ノ儘デモトウニカ突撃ガ出來ル

甲ノ森林ニ於ケル攻鬪ハ最モ困難デアル

敵ノ陣地ハ殆ド射界ノ清掃ヲヤツテホナイ 音ニ對シテ射撃ヲスル

二三日激烈ナ戰鬪ガアレバ自然射界ハ清掃サレル

甲ノ森林デハ第一線歩兵ガ敵陣地ノ細部ヲ偵察スル事ガ出來ナイ 突撃準備位置ニ著クムガ問題デアリ其レカラ敵ニ突入スル五〇米ノ間ガ駈步出來ル地形故大體此ノ距離デ殲滅的損害ヲウケテ突撃ハ頓挫スル

◎森林ノ問題其ノ四一森林内ノ偵察

二十五萬分ノ一十二萬五千分ノ一ノ地圖シカナイ地方テ全域森林特ニ  
地點ノ基準ノナイ地區ニ於テハ情報特ニ大隊長、聯隊長ニ必要ナル情  
報ノ<sup>収集</sup>審査ハ極メテ困難デアル

斥候ハ將校斥候ト雖モ自己ノ通過シタ地點ヲ的確ニ報告出來ナイ下  
士官斥候以下ニ至ツテハ大部分五〇〇米位前進シテモ二軒位前方迄行  
ツタ様ナ報告ヲスルヤ其位前方ニ居ルヤ否ハ自覺シテモハズ

報告ヲ聞クモノハ審査ト云フヨリモ判讀ト雷フ營業ガ適當ナ程度ニ頭  
ヲ用ヒネバナラヌ 從ツテ敵ノ陣地等ハ斥候ノ報告ヲ綜合シテ圖上戰  
術ノ想定ヤ狀況ニ示ス様ナ圖ガ描ケナイ 一般ノ様ナ攻堅計畫ハ立タ  
ナイ

攻堅開始シテカテカラ敵ノ火器ノ位置ガ判明スル 其レニ應ジテ大隊  
長、聯隊長ノ急速敏速ナル部署ガ必要デアル  
茲ニ大隊長級ノ能力ノ向上ト之ヲ助ケル通信ノ必要條ガヤル



訓練モ威力搜索ニ引續ク攻撃遂行ヲ徹底的ニ訓練スル必要ガアル

森林内ノ状況不明ノ一例トシテ歩兵約半大隊正面二軒程度ノ友軍陣地

ヲ申シ受ケタ大隊長カ確實ニ自己ノ陣内ヲ詳知スルノニ毎日歩キ廻ッ

テ一週間掛ツタコトガアル 師團司令部カラ行ツテ一日位見テモ如何

ナル陣地ガ出来テキルカ判ラナイ

友軍ノ陣地サヘサウデアアルカラ森林内ヲ潛行シテ行ツテ見ル斥候ニ多

クヲ期待スルハ無理デアアル

將校斥候ニ一同行ツタ將校ガヲルカラ道案内ガ出来ル等ト考ヘテキ

タラ大間違デアアル

○斥候ノ報告ヲ理解スルタメニハトキ大隊長、聯隊長自ラ其ノ土地

ヲ歩イテキルコトガ絶対必要デアアル 師團參謀亦然リデアアル

後方機動ヲヤツタ時敵ノ未ダ來ナイ時期ハ之ガ可能デアアル

0268

◎森林ノ問題其ノ五(戦車)

森林戦デアル以上大シタ價値ハ發揮出來マイト思ツテキタ戦車モ森林  
デハ又獨特ノ威力ヲ發揮スル

森林戦ニ現レタ二三ノ特色ヲ列擧スル

ノ敵ノ戦車ハ自動車道路ヲ通ラズニ駄馬道人道等ヲ方向維持ノ基準ニ

シテ森林ヲ押倒シ 前進シテ來ル 是ハヤルカモ知レヌトハ思

ツテキタガ徹底シテ本道ヲサケテ來ルノニハ少々驚イタ

一時間四杆位ノ速度デアル 此方ノ速射砲ハ迫ヒカケテ行ケナイ

2. 搜索困難ナ森林内據點ノ爭奪ニ於テ據點ニ近接スル者ニ對シ音ヲ聞

イテ行フ小銃機關銃盲射チニヨリ裸ノ人間ハ相當ニヤラレルガ戦車

ハ平氣デジリ 押シテ來ル 威力搜索ニハ好適デアル

3. 集結使用ノ程度ハ二〇―三〇臺程度デ、其モ一據點ニ對シテハ二―三

台一組トナリ歩兵ヲ背ニ乗セテヤツテ來ル

0269

々森林内ノ秘匿サレタ障碍物ニ突然ブチ當ツタ時戰車ノ有無ハ成敗ヲ  
決スル必ズシモ臺數ノ多キヲ要シナイ 攻敵ニ方リ 三臺デモ三臺デ  
モ有レバナールト嘆息スル様ナ狀況ハ再三起ツタ

◎森林ノ問題其ノ六(持久作戰トノ關係)

三〇〇軒ノ正面ヲ有シテ長時日持久作戰ヲ行フ師團ニ取ツテ森林ハ不  
便モアツタガ大局カラ見テ大ナル援兵デアリ實デアリ戦力テ有ツタ  
「フリーコン」地區ガ開豁地デアツタナラ現在程度ノ持久モ不可能デア  
ツタラウ

價值ノ主ナモノツアゲルト

ノ森林ハ膨大ナル築城材料ヲ提供スル

移動シタ戦線テ直チニ築城ニ著手出來ル 材料ガスグ横ニアル

(北阿ガ森林デアツタラ「ロメル」軍ハアンテナニ簡單ニハ成リカ

カッタデアラウ)

## 2. 飛行機ニ對スル掩護

毎日延百機ヲ銃爆撃ヲ受ケテモ遮蔽ガ出來ル

(滿洲ノ開豁地テ制空權ヲ失ツタ軍隊ハ制空權ノナイ海軍ニ似タ  
狀況ニナルト思フ)

直接ノ損害ハ殆ド無イ 實際ノ損害ハ後方ノ停頓<sup>車場</sup>地近傍ノ集積地  
ノ軍需品ガ大部分デアリ晝間行動ヲサケルタメニ生ズル兵全員ノ  
疲勞ノ累積等ノ間接被害ノ方ガ大キカツタ

3. 少數ノ兵デモ頑張ツテ居レバ敵ハ三軒、四軒ノ地歩ヲ推進スルニ  
數日ヲ要スル

長時日ノ地域抵抗ニヨル持久戰ヲ制空權ノナイ開豁地テヤルノハ困難  
ナコトデアラウ 森林ハ師團ノ場合ニ於テハ寶デアリ味方デアツタ

○森林ハ野馬道ノ道<sup>カ</sup>出<sup>カ</sup>来<sup>カ</sup>テモ行軍ハ大<sup>大</sup>作<sup>作</sup>業<sup>業</sup>ニ<sup>三</sup>倍<sup>倍</sup>要<sup>要</sup>ス

(展開ニモ此ノ時間ヲ見込ム必要ガアル)

從ツテ持久ノタメ抵抗地城ノ余裕ヲ一〇〇ノ秆モツテホルコトハ三〇〇ノ秆ノ余裕アルコトデアアル一之ハ横方向ニモ云ヘルコトデアリ四秆ノ正面ハ十二秆ト考ヘル必要ガアル、一「ヘクタール」ハ九「ヘクタール」デアアル「フーコン」地區ノ面積ハ地上軍<sup>隊</sup>ノ運用ニ既テ八九倍ニ相當スル地域ヲ考ヘネバナラヌ、森林ガ兵ヲ呑ムト云フ營業モ數學的ニ一部説明出來ルト思フ)

0272

◎米軍裝備ノ重慶軍

「アツサム」カラ前進中ノ新編第一軍ハ率直ニ言ヘバ其ノ裝備、戰意  
戰法、訓練共ニ相當ナモノデアアル。二箇師團ニ對シ我ノ一箇大隊ヲ對抗  
スル支那ノ様ナ譯ニハ行カナイ。加之優勢ナル米空軍ノ協力ヲ受ケ戰  
車ヲ有シ我ニ比シ良好ナル給養ヲ尙支那カラ空輸ヲ送ラレ日本軍ウ擊退  
退セネバ故國ニ歸レナイ立場ニ置カレテ有ルトケニ始末ガ悪イ  
ノ裝備ハ一箇師團ニ〇〇門ノ迫撃砲ヲ有シ森林戰ニ適スル自動小銃ヲ多  
多數有シテ居リ空中補給ノ關係上常ニ輕裝デアアル  
火器ハ在支重慶師團ニ比シ三―四倍優良デアリ彈丸ハ無盡藏ニ近イ  
之訓練ハ熱心デアアル。戰死シタ兵卒ガ何レモ吾々ガ豫科士官學校當時  
書イタ教練手簿ノ様ナモノヲ持テ是デモ支那人カト思ハレル様ナ下  
手ナ字ヲ鬼ニ角日ヲ學ンタコトヲ記錄シテモル。殆ド例外無シニサウ

又、  
支那  
軍  
之  
歩  
兵  
隊  
ハ  
步  
兵  
隊  
同  
様  
ニ  
步  
兵  
隊

飛協同演習ヲヤツテキル

日記ニ依レバ雨期間モ訓練ヲ反復シテキル

雨期間汽車ニヨリ到着スル荷物ノ荷役ニ精力ヲ消耗セザルヲ得ナイ

我が軍ト大分異フ

3. 戦法ハ徹底シテ米軍式デアリ西南太平洋ノ教訓ト符節ヲ合スル

師團ノ戦闘教令ト剛ノ戦闘教令ヲ讀ミ比スルト海軍ニ關スル件ヲ除キ

内容ハ殆ト同一ノ趣旨ヲ書カレテアルノヲ見テ微笑ヲ禁ジ得ナイ

4. 人間ノ補充ガ迅速デアル、二ツカ三ツノ補充聯隊ガ軍ニツイテ居テ軍

空中輸送デ來タ奴ヲトシ、教育シテ補充ヲスル

殆ト潰滅シタ等ノ聯隊ガ二ト三箇月タツト又元氣ニ出テ來ル

緬支空輸機ハ普通一日六〇―八〇機飛ンデ居リ一機デ人間ノミノ時ハ

ハ三〇人カラツメコム様デアル(俘情)支那カラ貰フモノハ人間ノ外

外ナイ。米英ガBombing Bookノ算術デ一日二〇〇〇人内外

ハ人間ヲ貰ヒ得ル體系ヲ作ツテキル譯デアル

殺セドモ、來ヤガルト云フノガ實感デアツテ例ノ補充團ノ組織ニ依リ新兵ト雖モサウ戰鬪法ハマツクナイ

内地ヲ出テ半年經ツテモ到着セヌ初年兵、補充兵「タマコメ」ノ倅ニ出來ヌノニ到着シタ時ハ既ニ上等兵ニ進級ノ時期ニ達シテキル我が軍ノ初年兵、補充兵ト比較シテ敵ノ補充教育組織ハ羨シイ限デアツタ

### 5. 戰意

突撃シタ兵ニ組付イテ來ル、逃ゲナイ。兎ニ角戰意ハ盛デアアル

問 我々ノ敵ハ何人デアアルカ

答 日本、獨逸、俄太利デアリ最悪ノ敵ハ日本軍デアアル

問 日本軍ハ何故最悪ノ敵デアアルカ

答 我が國ヲ侵略シ我方同胞ヲ殺戮シ云々

以下、問答デ簡單明瞭ナル精神教育ノ戰争目的ヲ審イタモノヲ擧ゲ入ニ入レテキルコト、恰モ吾ガ軍人ガ軍隊手帳ヲ持チ戰陣訓ヲ持ツテ

0275



キルト同様デアル

日本軍ヲ撃退セネバ故國ハ救ハレナイト云フ等ハ切實デ無クトモ  
ルマレノ日本軍ヲ撃破セネバ父母妻子ノ所ヘハ歸レヌト云フコトハ  
切實デアル

白人ニ對スル態度

好感ハ全然モツテキナイ

白人ノ横暴ニ憤慨シツツ「我々ハ日本ヲ撃破シタル後白人ニ對シテ  
如何ニ對ス可キヤ」ト「インテリ」支那將校ノ日記ハ諸所ニ記シテ  
アル

唯、今ノ所日本ニ對スル敵愾心ニ比スレバ問題ニナラヌ程度デアル。  
優勢ナ空軍デ支援セラレ我ニ比シ潤澤ナル給與ヲ受ケテキル現況ニ  
於テハ日本軍ニ投降シテ故國ヘ歸ル考ハアマリ浮バナイラシイ

○將來印支空輸量ノ増大ニ伴ヒ在印重慶軍ハ益々増加スルデアラウシ  
又在支重慶軍ノ米國化モ既ニ著手セラレテキル様デアル。敵ノ緬支空

輸路ノ遮斷ハ凡有意味ニ於テ重要デアル

支那ニ米國ノ物資ガ自由ニ入り三〇〇個師ノ支那軍ノ十分ノ一デモ今  
ノ程度ニナツタ時ハ支那派遣軍モ大變ナコトニナラウ

◎志氣

一菊兵團ノ志氣ハドウカネトハ到ル所デ聞カレル質問デアル

兵團ハ九州健兒ヲ主体トシ兵ノ素質ハ日本デモ最良ノ部ニ屬シテキル  
半年ニ亘ル沐ミナシノ戦闘ヲ續行シ乍ラ兵ハ激烈ナル闘志ヲ持ツテキ  
ル。志氣ト云フ言葉ノ内容ハ色々有ラウガ現在師團ガ當面シテキル様

ナ戦況デハ主トシテ敵愾心、闘志ヲ指シテ問題トシテキル事ト思フ

敵愾心、闘志ハ衰ヘテキナイガ當テ兵團ガ「シヨホール」ヲ越エテシ

ンガポールニ殺到シタ機ナ熱狂的興奮カラ來ル感情ノ昂揚ハ當面シ  
ツ、アル戦團ノ性質上見受ケラレナイ

朝カラ晩迄敵ノ銃爆聲ヲ受ケテ開路地ニ於ケル日光浴モ安心シテハ出  
來ズ乾物ノ位置取入ニ終始氣ヲクバリ晝間炊事ハ火ヲアガルハガ避ル

ルタメニ日役ヲ待チ、敵軍中モ再三、<sup>大</sup>滲透攻撃ニヨル補給路ノ遮斷ノタメ  
ニハ必勝ノ自信ヲ持チ、敵ノ滲透攻撃ニヨル補給路ノ遮斷ノタメ  
持チ得ル戦線ヲモ放棄シテ、逐次後退ヲ餘儀ナクサレル様ヲ戰闘ニ於テ  
ハ齒ヲ喰ヒシバツテ「糞」ト云フ一語ニツキル氣持デキル。獸々悲壯  
闘志ト云フノガ兵闘ノ志氣ノ現状デアラウ  
西南太平洋ニ敵中ニ残留シテキル人々ノ志氣モ恐ラクハ右ノ様ヲモ  
デアラウ。一番乗ノ名譽ヲ賭シテト云フ如キ華々シサハナイ、  
其癢ニサハツテモ思フ様ニ墜墜出來ヌ、飛行機ノ一日百機以上ノ墜  
下ニ在ル軍隊ノ氣持ハ皆似タ様ナモノデアラウ  
一概ニ志氣ガ衰ヘテキルト云ハレルト癢ニサワル

◎間接攻撃其二（無辜ノ民ニ對スル殺戮）

敵ノ間接攻撃ハ徹底シテキル。單ナル後方部隊ノ攻撃補給路ノ遮斷ニ  
止ラズ、戰場近傍ノ土民牛馬ニ對スル銃爆撃ニヨリ飛行場ノ構築、補修  
ノ妨害、農産耕作ノ妨害迄實施シ日本軍ニ土民ヲ寄セツケヌ所迄徹底

シテキル。フリーコンレ地区ハ「チンスキヤ」飛行場料カラ三十分行程デアル。友軍機ハ殆ド來タ事ハナイ。從テ敵ノ飛行機ハ朝霧ノ晴レル頃カラ夕刻迄制空ヲヤル。全機數ハ多クハ有ルマイガ飛行場カラ三十分以内ノ所デア<sup>ル</sup>ハ在空時間ト云フモノハ極メテ長イ。二―三時間位頭張ツテ一人、馬一頭、牛一匹ト雖モ銃撃ヲヤル。軍隊ト土民ノ區別ハナイ。「カマイン」周邊ノ廣大ナル耕地、「フリーコン」地区ノ我ノ勞力範圍ノ耕地ハ之ヲ耕ス土民ガ無クナル。現地生産ガ減少シ所要追送量ガ増大スル之ニ併行シテ鐵道遮斷、自動車ノ運行妨害ヲヤル

戰爭ガ國民國家ノ總力戰デアル以上生産ニ從事スル者モ戰士デアル。更ニ廣ク見レバ全國民悉ク戰闘員デアル

既ニ戰闘員デアルナレバ之ニ銃砲火ヲ向ケルノヲ不正ト云フ事ハ出來マイ。向ケラレタゴトヲ國民ニ宣傳シ意志ヲ燃ヤスコトハ必要デアラウガ之ヲ敵國ニ抗議スルガ如キハ奇怪ナ話デアル。病院船ガ爆撃ヲ受ケタ事

多抗戦スル者如キモ奇怪ヲ語テアル。病人デアルカウガ老幼婦女子ト雖モ戦士トナル以上敵ノ攻  
區ハ當然ノコトデアルト云フ覺悟ヲ積エサヌコトガ必要デアル

敵ガ來テモ我々ハ殺サレヌト云フ考ハ戰闘ハ軍隊ガヤルト云フ思想ノ  
濫床ニナル虞ガアル

逆ニ敵國人ニ對スル吾々ノ考ヘ方モ検討ヲ要スル

蔣介石及其ノ軍隊ヲ相手トシタ支那事變ト米英兩國即米英ノ總意、總  
戦力、總國民ヲ相手トスル戦、大東亞戦争トハ其ノ國民ニ對スル觀念  
モ指導要領モ異ル筈デアアル

本土空襲ヲ企圖スル敵ガ銃爆撃ニヨリ無辜ノ國民ヲ殺スハ當然ノコト  
デアアル。今頃其ノ不瓦ヲ唱ヘルノハドウカト思フ

飛行機ニ許サレルコトハ地上軍隊モ許サレルガラウ。軍需工場ヲ此  
ノ空爆ニ斃レタ人々ハ戦場ノ戦死者ト同一ニアツカハレル可キ戦死者  
デアラウ

此ノ考ハ一般國民ニモ類推出來ル

武田耕雲齋ノ一族ハ女子供迄靖國ノ舞ト祀ラレテキル。役用スル時ダケ戰士々々トオダテルダケデハ國民ニ異カラ戦闘員ト云フ氣持ヲ起サセ得マイ

國民ノ覺悟、一億戰闘員ノ覺悟ヲキメサス必要ガアル。戰ノ現實ヲ國民全部ニ徹底セシメ此ノ邊ノ覺悟ヲ新ニシテオカネバ敵ノ上陸シタ所ノ日本人ガ敵ノタメニ勳クコトニ矛盾ヲ覺ヘヌ様ナ事態ガオコリハセヌカ

吾々ハ「狀況外」チアルト帽子ヲ脱イタ様ナ國民ヲ作ツテハナラヌ。敵ノエゲツナイ間接攻撃ノ現實ヲ見、未ダ病院船ヲ燦撃サレテ抗戦シテキル内地ノ有様ヲ對照シテ痛切ニ考ヘ味セラルル問題デアル。弱イ國民ヲ殺スノガ米英間接攻撃ノ神髓デアル。

◎「ピルマル」ノ雨期

雨期ト云ツテモ毎日終日雨ガ降ル譯デハナイ、最盛期ヲ除イテハ一週間ノ中四日ハ終日降ツテモ三日ハ晴成ル。其ノ中二時三時間ハ降ルガ

大部分ハ降ラヌト云フ様ナコトガ普通デアル  
川ト云フ川、溝ト云フ溝ガ徒涉不能ニ増水ヲスルノミナラズ河ノ兩側  
平地ニ於ケル作戰行動ハ殆ト不可能ニ近イ  
但シ山ノ稜線道ハソレナクモナイ。雨期作戰ガ繼續サレルトスルト戰闘  
ノ焦點ハ山ノ手ニ移ルデアラウ  
前記ノ如キ降リ方デアルカラ雨期ト雖モ敵ノ飛行機ノ活動ハ全面的ニ  
休止スル譯デアナイ  
「カーサー」周邊ノ敵落下傘部隊ニ對スル空中補給ハ依然續行サレルデ  
アラウ。敵ノ大型輸送機ハ昨年ノ雨期中依然印支空輸ヲ續行シテ特ニ  
オトロヘヲ見セナカツタ  
但シ晴天ト雖モ「チンスキヤ」ー「フリーコン」中間山地ニドス黒イ雲ガ  
掛ツテキル時ハ戰團機ノ來襲ハ稀デアツタ  
印緬國境山脈以東ノ地區ニ雨期使用可能ノ飛行場ヲ作ラヌコトハ緬甸  
ニ於ケル遊撃作戰遂行上重要ナコトデアル  
尙「マングダレー」附近ハ雨期ト雖モ雨が殆ト降ラナイ  
「サカカシ」山脈ノ季節風遮斷ニヨル降雨量五〇〇「ダカラ」棉ノ産  
地ナリ

◎師團ノ實力ノ編成

十二月頃師團ノ兵員中幾何ノ者ガ第一線デ直接戦闘シテキルカラ詳シク調べタ事ガアツタ。詳細ナ統計ハ忘レタガ二萬ノ人員中二千人ハ入院、残り一萬八千ノ中九千ガ第一線、残りノ九千ガ後方勤務其ノ他ニ宛テラレテキタ。師團自ラアキレル様ナ實情デアアル。「ニユーギニヤ」方面ノ一例（第一線ノ人員ハ定員ノ一割―二割デ大部分ハ後方輸送ニ従事シテキタ話ヲ聞イタ）程デナイガ兎ニ角師團定員ノ五割ハ戦闘ニ直接參加シテキナイ。主ナモノヲ列擧スルト

イ、平病ノ入院約二〇〇〇人（三ヶ月以内デ治愈見込ノ者ハ定員内ニ入ル可キ人員デアアル。「マラリヤ」ニ依リ常ニ二〇〇〇人ハ循環シテ入院シテキル）定員ノ二割保有ヲ認メラレテキルガ此ノ入院デ一割ハ相殺サレテキル。後リノ一割ハ「ロ」―「ハ」デ消エテキル。

只軍司令部以上ヘ差出シテキル勤務員ガ四〇〇―五〇〇人編成表デ司令部ノ人員ヲ増サタト迷惑スルノハ第一線部隊デアアル



ハ分派遣數百人（幹候下候等）

ニ鐵道四〇〇軒、自動直道二〇〇軒ノ兵站線ニ荷役、倉庫、警戒、物件監視カ數千人（後備動員ヲ指揮中ノ師團監視他）

大學校デ學ンダ兵站講義デモ第一線部隊ノ人員ノ約半分ニ當ル人員ガ兵站關係部隊ニ居ツタ様ニ記憶シテキルガ後方機關貧弱ナル軍ノ下ニ附イテキル師團ハ好ムト好マザルニ拘ラズ大ナ人員ヲ兵站ニ吸收セラレテキル。

アソコニハ三ヶ師團居ル、五ヶ師團居ルト簡單ニ安心シテキテモ實力ハ三混成旅團或ハ獨立混成聯隊（五個ノ實力シカ發揮出來又狀態ニアル部隊ガ多イ此ノ實情ヲ認識シテ兵ヲ遣ハネバ間違ガオコル編成ノ問題デモサウデアアル。實力ノ發揮出來又師團ヲ作ツテ番號ノミヲ増加シテ自己満足シテキルト苦シムノハ第一戰線部隊デアアル

◎内地トノ交通、兵員ノ補充

北「ビルマ」ガ大東亞戰爭地域内デ一番内地カラ遠イト思フ。

初年兵ガ内地出發カラ到着迄ハ早クテ六ヶ月カカル。彈丸込メノ碌ニ  
出來ヌ兵ガ到着ノ時ハ上等兵ニ進級ノ時期ニ達シテキル。

「ラングーン」附近ニ教育師團ヲ作フテ人間ノ「ブール」ヲ覆イテ黃  
ヒタイノハ第一線ノ切ナル希望デアル。

軍令ニヨリ「ラングーン」附近、昭南附近ニ新設セラレル部隊ノ人員  
ハ多ク師團カラ引キヌカレル其ノ補充ハ六ヶ月セホバ來ナイ。人員ノ  
不足ヲツゲテキル師團カラ百二百ト新設部隊ニ抽出サレル時ハ全般ノ  
狀況ハ解ラヌガ「折角此所迄來タモノヲ抽出セズニ内地カラ人間ヲ  
取ツテクレヌカナ」ト云フ聲ガ何時デモ參謀室デ洩レル。

第一線ノ聯隊長殿モ「何トカナランカ」ト云ツテ來ラレル。次ノ乾期  
ニ使ハレル兵員ハ傘頃門司ヲ出帆シテキナケレバ間ニ合ハナイ。此ノ  
爲ニモ南方ニ人間ノ大「ブール」ヲ必要トスル

◎地圖ノ梯尺

二十五万分ノ一ニ一ケ大除程度ノ陣地ヲ畫クト本當ノ梯尺ヲ示ス時ハ

米粒位ノ大キサニナルカチラヌカデアル。

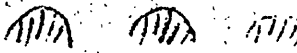
軍司令部ヤ方面軍司令部ニ行ソテ實際第一圖程度ノ據點ヲ第二圖ノ様ニ「チヨーク」デ示シテアル地圖ヲ見ルト是ハイカント思フ。

地點ガ小サク不明ナ爲之ヲ明瞭ニ示スタメ大キク奮クノデアラウガ何時モ其ノ様ナ圖ヲ見テキルト恰モソナ據點ガアル様ナ錯覺ヲ起シ認識不足ノ命令ヲ起案シタリ過望ナ期待ヲ抱ク様ニナリハスマイカ。

第一圖



第二圖



◎通信ト戦力

軍以上ノ通信ハ比較的中央デモ面倒ヲ見テクレルガ師團通信隊以下ノ編成ハ舊態依然トシテ四軒一八軒ノ戦闘正面ヲ考ヘタ當時ト變リナイ三百軒ノ正面ヲ持ツテキナガラ分派スル斥候ハ勿論中隊位ノ小部隊ニ

ハ附ケテヤル無線器ガ足ラナイ。

森林ヲ潛ツテ來ル戰車ヲ見ツケテ報告ノ兵ガ來タ時ハ戰車ハ追尾シテ  
間近ニ來テ居ル。

大本營ニ來テ「ビルマ」カラ來タ報告電文ヲ讀ンテ見ルト師團司令部  
カラ大本營迄知ツテキル内容ハ殆ド同一デアアル。報告ノトギレルノハ  
（先日「ウクルル」附近ノ戰鬪ノ頃、烈、祭方面ノ報告ガ暫ク切レタ  
事ガアル）師團司令部ト第一線ノ連絡、聯隊ト大隊ノ連絡ガ切レタ時  
デアアル。

師團通信隊以下ノ通信戦力ヲ現在ノ二倍ニスレバ師團ノ戦力ハ三割程  
度ハ飛躍的ニ向上スルト思フ

最モ少イ人ト器材デ第一線ノ戦力ヲ向上サス道ハ通信部隊ノ增強デア  
日本全師團ノ改良ガ出來レバ二〇ヶ師團一三〇ヶ師團ノ増設ト同様デ  
アル。必ズシテ師團ノ番號ヲ増加シテ大隊長、聯隊長、參謀ノ不足ヲカ  
コツコトナク手近ニ戦力向上ノ方法ハ有ルガ目ニ見エヌ故ニ話シテモ

0287

容易ニ分ツテクレヌ分ツテモ努力スル人ガ少イ

◎ 森林ノ問題追加 (鳩兵)

○ 森林ニ於ケル樹上射撃ノ價値ハ決定的ト云ヒ得ザルモ相當少モノデアル。

位置ノ發見ガ解ラヌノデ墜ハ容易デナイ。緒戦ノ部隊ガ不覺ヲ取り幹部ノ大量消耗ニ會ヒ一時ニ戦力ヲ喪失スル敵戦法ノ一ツハ是デアル日本軍ノ通弊タル戦訓ニ對スル無關心ハ戰場新到着部隊長ニ司令部デ一寸話ヲシタリ書物ヲ配布シタリシタノデハ中々徹底シナイ。自分デ即カレネバ深刻デナイ。深刻ニサトツタ時ハ惜シイ幹部ガ既ニヤラレテキル。

○ 教育訓練ノ時大隊教練ヲ聯隊長ガ指導講評シ、中隊教練ヲ大隊長ガ指導教育評講シ習性トナツテキネバ大事ノ突撃ノ時ニ忘レテ地上ノミヲ氣ニシテキテ此ノ上空ヨリスル側防火器ニ引掛ツテシマフ。

○ MGノ掃射デハ中々落ちナイ様ニチャント掩體(土囊)ヲ積上ゲテ偽

装シテキル。バタ／＼トヤラレ出シテモ何ノ本カ中々分ヤナイ、探シテキル者ガ又ヤラレル。

○火器ハ自動短銃、自動小銃、チエツモ、擲弾銃（存庫ハナイト云フ）單ニ手榴弾カモ知レヌ）ノ様ナモノヲ用ヒル。

彈丸ガ如ク肩カラ胸腰ト要部ヲ至近距離デ貫通スルカラ十人中七、八人迄ハ助カラナイ。戦死就中即死ガ多イ。中ニ手榴弾ヲ杯袋ニ入レテ上ツテキル奴ガキル。敵陣地ノ一角ヲ奪取シタト思ツタ。木ノ上カラ猛烈ニナゲラレ一時ニシテ成果ヲ失ツタコトガアル。何ノコトハナイ、猿蟹合戦ノ猿デアル。此ノ時程猿ノ立場ニ悲憤ノ涙ヲ流シタコトハナイ。

○對策

ノ攻撃準備射撃ノ時期居リサウナ木ハ是ガ中々解ラヌ故相當ノ彈丸ガイルニ對シ砲兵、聯隊砲、速射砲ノ集中射撃ヲヤル無駄彈丸ノ時モアルガ時タマ敵ガモンドリ打ツテ墜落スルト何トモ云ヘヌ

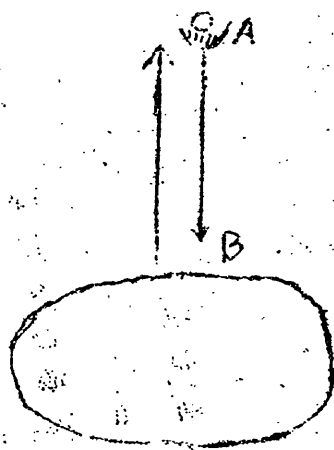
0289

溜飲ヲ下ゲル。ウヲミ骨體ニ徹シテキル故飛行機ノ擊墜ニ勝ルト  
モ劣ラヌ感激デアアル。

2. 突撃ノ時期MGノ一部ヲ以テ突撃前進間樹上ヲ掃射セシメル。盲射  
ダガ己ムヲ得ナイ。制壓デアアル。MGデ墜落スル掩護不充分ナ奴モ  
アル

3. 突撃スル分隊ノ内一人ハ上ヲ見テ行ク必要ガアル。

○樹上ノ奴ハ不意ニ發見サレテモ頭的位ノ大キサシカ目標ハナイガ下  
ノ者ハ全身暴露デアアル人数が多い程不利デアアル。發見一戰闘開始ノ位  
置ガ近い程割ガ悪い。



AトBトノ戰闘デアアル

Aハ亦死兵デアアル

Aノ撲滅迄工Bノ受ケル損害ハ甚大デアアル

特ニBガA制壓ニ適スル火器ヲ有セズ之ニ對スル機動の準備ヲナイ場合  
ノ如キハ慘メデアアル更ニAガ二ツ三ツ同時ニ機手出シ地上火器ガ之ニ呼  
應シテ働ク様ニナレバ突撃頓挫位デハナイ突撃力ノ全クノ喪失デアアル。  
○要スルニ鳩兵ハ短刀火器ノ變形デアアル。而モ伏セガ射タレル方ノ身ヲ  
守ラナイ短刀火器デアアル。

○敵ノ戰闘教令ニハ鳩兵ノ事ガ徹底的ニ書イテアル。

「クドイ」程書イテアル。大損害ヲ受ケタ時ノ敵ノ報告ノ押收文書ニ依  
ルニヨルト此方ハ鳩兵ヲ用キ又時デモ鳩兵ノ巧妙ナル射撃ニ依ルト

在ル其ノ威力ヲ信ジ恐レル事斯クノ如シダ從ツテ陣地ニハ必ズ之ガアル

○新戦法ヲ徹底サスタメノ教令ノ書方ニハ簡單ヲ旨トシテハナラナイ。

當面ノ忙シイ問題ノ多イ第一線ノ指揮官ハ熟讀玩味シテ大學校ノ受験者  
ノ様ニ勉強ハシナイ。何所ヲ見テモ書イテアル攻撃ニモ防禦ニモ行軍ニ  
モ宿營ニモ築城ニモ又戰訓ニモ教令ニモ訓示ニモ講評ニモ日常ノ上級者  
ノ談話ニモ一ツノコトヲ徹底サス心算ヲ掛ラネバ徹底シナイ。



○新戦法ニ對スル創意工夫之方徹底ニ開スル努力ハ敵ニ一線ヲ輸シテキ  
ル。

第一線ノ吸收性ノ乏シサモアルガ上級司令部ノ徹底サス努力ノ不足モ認  
メネバナラナイ。

電報ヲ書ク紙ノ追送モナイ第一線ノ實情ニ應ジテ大本營ヤ上級司令部カ  
ラ必要ナ印刷部數ヲ配布シテヤル努力ヲセネバナラナイ 新戦法ハ口達  
ノミデハ流言蜚語ノ如ク迅速ニハ傳ハラナイ

敵ハ要圖漫画（イ）々々工夫シテ兵ニ新戦法ヲ教ヘテキル